

4. 環境汚染の防止

(1) 大気汚染の防止 (2) 河川水質の保全 (3) 騒音・振動防止 (4) 悪臭の防止 (5) 有害物質による汚染の防止	(リーディング事業) 4-1 ふるさとの川づくり事業
--	-------------------------------

「特集」

○ 座光寺のふるさとの川づくり事業（地域環境美化推進モデル事業補助金）

座光寺地域自治会では、水辺の広場委員会を中心に天竜川の河川敷を含め、大小の河川の水辺が住民の憩いの場になるように草刈りやごみ拾いを年3回行いました。

座光寺独自の水質検査や蛍の調査で水環境のチェック、6月27日は親子で楽しめる水生生物観察会が「水辺の広場マレットゴルフ場」付近の河川で開催され、多く方が参加されました。当日は、「天竜川総合学習館かわらんべ」の堤久先生をお願いして、実際に小川に入って、ザリガニや小魚、ヤゴ等を網などで採取して、水中生物の観察を行いました。

ホテルの住める環境づくりでは、水辺に石灰石配置などして環境を整備しました。



4環境汚染の防止

(1) 大気汚染の防止

施策の名称	実施事項	環境に対する効果	実施主体	H21決算額 (円)	款・項・目 (細々目名)
大気汚染苦情に対する取組	事業活動に伴って発生する廃棄物の不適正な焼却に対して飯田市から直接指導を行いました。	大気汚染の度合いが緩和されました。	環境課	なし	
大気汚染苦情に対する取組	家庭における不適正な廃棄物の焼却に対して直接指導を行いました。	大気汚染の度合いが緩和されました。	環境課	なし	

(2) 河川水質の保全

施策の名称	実施事項	環境に対する効果	実施主体	H21決算額 (円)	款・項・目 (細々目名)
*不法投棄ごみ回収事業	年3回、環境保全委員会役員(24名)が地区内の不法投棄ごみを回収しています。特に富田沢川、塩沢川など特定の箇所によく不法投棄が発生するため重点的に実施しています。	水辺のゴミを回収することによる水質の保全。周辺美化により不法投棄しにくい環境の維持。	下久堅地区まちづくり委員会環境保全委員会	147,200	04-02-01-19 まちづくり委員会会計
水質検査及び指導	下水道法に規定する特定施設を有する事業所のうち、大手9事業所で下水に入る前の排水の水質を検査し、指導を行いました。	下水道への排水基準を遵守することにより終末処理場での効果的な浄化が期待できます。	下水道課		
家庭や事業所の水洗化の促進	下水道法では、下水道が使えるようになったら生活雑排水はすみやかに、くみとり便所は3年以内に下水道に接続しなければならないとしています。下水道未接続の家庭や事業所を2,006戸訪問し、245戸に接続していただきました。	水洗化により河川への生活雑排水の流入が減少し、河川の浄化が進みました。	下水道課		
河川の定期観測の実施	市内70河川、78地点において定期的な水質検査を実施しました。 「資料編 第4章 3水質関係 (1)河川水関係 ②河川水質検査結果」参照	水質の状況を明らかにすることにより水質保全対策の推進に資する情報を集めることができました。	環境課	3,150,000	04-01-05 (水環境保全推進費)

施策の名称	実施事項	環境に対する効果	実施主体	H21決算額 (円)	款・項・目 (細々目名)
飲用地下水 水質検査斡 旋・助成及 び定期モニ タリングの 実施	地下水の汚染状況を把握するため、市内6地点で定期モニタリング調査を実施しました。また、井戸水を使用している家庭を対象に、飲用としての適不適を検査する飲用井戸水水質検査のあっせんを行い、平成21年度は280件の申込みがありました。上水道及び簡易水道を引けない世帯に対しては、検査費用の一部助成を行いました。 「資料編 第4章 3 水質関係 (2)地下水関係」参照	水質の状況を明らかにすることにより水質保全対策の推進に資する情報を集めることができました。	各自治振興センター 環境課	298,002	04-01-05 (水環境保全 推進費)
松川水環境 保全推進協 議会の事業	松川水環境保全推進協議会は、飯田松川流域の自治会、衛生組合、下伊那漁業協同組合から組織されており、松川の水質浄化及び安らぎと潤いのある水辺空間づくりを目指して、様々な活動を行っています。 ○松川水生生物観察会 7/26 ○河川敷帰化植物(アレチウリ)の現状把握及び駆除 7/10 ○生活と環境まつりへ参加 10/24~25 ○松本市視察 11/17 ○松川流域事業所視察 3/10 (平成22年) ○水環境啓発活動 通年	松川河川敷の生態系の保全、環境に関する意識の高揚等が進展しました。	松川水環境保全推 進協議会 環境課	なし	

(3) 騒音・振動防止

施策の名称	実施事項	環境に対する効果	実施主体	H21決算額 (円)	款・項・目 (細々目名)
特定施設・ 特定建設作 業等への指 導	法律で対象となっている特定施設・特定建設作業等について、騒音規制法・振動規制法に基づき届出を指導するとともに、公害防止の啓発を行いました。	工場騒音及び建設騒音防止の効果がありました。	環境課	なし	

施策の名称	実施事項	環境に対する効果	実施主体	H21決算額 (円)	款・項・目 (細々目名)
犬のしつけ方教室の開催	ペットに対する苦情防止の一環として9/27「飯伊動物愛護ミニフェスティバル」に共催して、犬のしつけ方教室に協力しました。 (小学校・保育園へのチラシ配布協力) また、犬・猫の飼い方マナーについて啓発事業を実施しました。入場者数約1,000人 動物の愛護及び管理に関する条例(県)が制定されたので、飯伊動物愛護ミニフェスティバルで周知し併せて市広報でも周知をしました。 犬のしつけ方講習会等について、「広報いいだ」で年3回啓発しました。	飼い主のマナーを向上させることにより環境への効果が期待できる一方、動物愛護の精神が培われました。	環境課	なし	
騒音測定の実施	道路に面する地域で6地点、中央自動車道1地点における24時間の騒音測定および自動車交通量の調査を行いました。また、市内一般地域における24時間の騒音測定の結果を12地点において行いました。	騒音防止施策の推進に必要なデータの収集を行うことができました。	環境課	1,246,770	04-01-05 (騒音・悪臭 その他公害防 止対策費)
遮音壁設置等の対策要望	中央自動車道沿線地区より要望のあった環境対策について、現地を確認し、騒音対策箇所については、すべての地点で24時間の騒音測定を実施しました。それらの要望については中央道環境対策協議会を通じて中日本高速道路株式会社へ対策の陳情を行いました。	中央自動車道沿線の住民に対する騒音が緩和されます。 昭和56年から上下線総延長1791mに遮音壁が設置されています。	環境課	15,000	04-01-05 (騒音・悪臭 その他公害防 止対策費)
電波障害発生防止のための指導	電波障害の生ずる恐れのある建築物を建設する際に、飯田市環境保全条例に基づき発生防止対策を行うように建築確認申請時に指示しました。	電波障害の発生件数は少なく抑えられています。 平成21年度は0件でした。	環境課	10,000	04-01-05 (騒音・悪臭 その他公害防 止対策費)

(4) 悪臭の防止

施策の名称	実施事項	環境に対する効果	実施主体	H21決算額 (円)	款・項・目 (細々目名)
悪臭苦情に対する取組	家庭における焼却等に起因する悪臭について、その都度現地を確認して対応を行いました。	悪臭苦情に対し一定の成果をあげることができました。	環境課	なし	

施策の名称	実施事項	環境に対する効果	実施主体	H21決算額 (円)	款・項・目 (細々目名)
臭気定期観測の実施	特定の事業所の敷地境界及び排水水について、臭気測定を実施しました。また、悪臭防止目標を設定した6か所についても、臭気測定を実施しました。 「資料編 第4章 6悪臭関係」参照	測定地点における臭気に関する環境の確認を行うことができました。	環境課	905,100	04-01-05 (騒音・悪臭 その他公害防 止対策費)
各種施設における悪臭防止の取組	畜産施設、堆肥化施設などからの悪臭発生について、施設への脱臭装置の設置、消臭剤の散布などの防止対策を指導しました。	悪臭防止等に向けた取組を促進することができました。	農業課 環境課	なし	

(5) 有害物質による汚染の防止

施策の名称	実施事項	環境に対する効果	実施主体	H21決算額 (円)	款・項・目 (細々目名)
大気・土壌中のダイオキシン類の測定	桐林クリーンセンターから排出される排ガスによる影響を把握するため、排ガス中のダイオキシン類、周辺8カ所での土壌中のダイオキシン類、周辺3カ所での大気環境調査を行いました。国の環境基準を下回る分析結果でした。 「資料編 第1章 1 飯田市のごみ処理の状況 桐林クリーンセンターの排ガス中ダイオキシン類調査結果及び土壌中のダイオキシン類調査結果」参照	桐林クリーンセンター周辺の環境の確認を行うことができました。	南信州広域連合 (桐林クリーンセンター)	なし	
低農薬、減化学肥料の推進	土壌分析に基づく適正な施肥を行うため、土壌分析を推進し分析結果を農家に返還しました。分析件数 620地点(野菜464点、果樹120点、花卉31地点、水稻3点、大豆1点、コンニャク1点)	化学合成農薬の削減、適正施肥による環境負荷低減の推進体制ができました。	農業課	310,000	飯田市園芸振興対策委員会から補助
有機質堆肥などによる良好な土づくりの推進	「生活と環境まつり」で有機質堆肥利用の普及啓発を図りました。	有機堆肥利用促進による化学肥料に偏らない環境に配慮した土づくりと循環型農業の確立に効果がありました。	農業課	なし	
アレチウリ駆除	6/14・7/7・8/18に上郷環境保全委員会役員を中心に地区民総勢342名により、アレチウリを抜き取る方法と葉に除草剤を塗る方法で駆除作業を行いました。抜き取る方法は茎の途中で切れてしまうため、除草剤のほうが効率的で効果が上がりました。年3回行うことで、取り残したアレチウリの駆除もできました。	生態系の維持と良好な景観形成。	上郷環境保全委員会	50,000	